



3.2 製剤の性状

グラニ寔建旬 育勿 刪 業オ荏佰き○術後の消化器症状(悪心、嘔吐)○効能又は効果に関連する注意5本剤を抗悪性腫瘍剤の投与に伴
 販売名 照射能射点滴静注するカ、Body、造血幹細胞移植術時の放射線治療患者 嬰腎機能障害患者9.2 バッグ (生理食塩液に関する注意)
 本分れ塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化する

9.5 妊婦

爾薬○胎児に有害な影響を及ぼす可能性は不明であるが、動物実験の結果、胎児の発育・生殖能に影響はなく、催奇性もみられなかった

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。授乳中のラットに¹⁴⁾

9.8 高齢者

副作用の発現に注意し、慎重に投与すること。

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
セロトニン作用薬		
選択的セロトニン		
再取り込み阻害剤		

